

今回は 夏休みに行われた関ジモト大学 の報告（その8）です。

◇ オンラインセミナー「関ジモト大学2022 online」

今年度は、昨年度に引き続きオンラインセミナーを実施しました。関市で活躍する「せき・まちづくりNPOぶうめらん」が主催する「関ジモト大学 online」の場をお借りして、関市内の19企業と各企業のSDGsに関わる取り組みについての話を聞き、生徒が意見交換を行いました。

◇ 企業紹介

【株式会社 HIORYES（ヒオリス）】

写真撮影・動画撮影によるプロモーション支援を行う総合プロデュース会社です。岐阜県美濃市を拠点に企業広告を中心とした宣材写真の制作や、プロモーション映像の制作をしております。



【HP】 <http://hiories.jp/>

関連するSDGsの目標						

◇ 関ジモト大学を受けて 生徒の感想

株式会社 HIORYES さんは映像の制作を仕事として行っており、地方の企業の宣伝の仕事をされていることがわかりました。また、人数が少ない都合上、企画から制作までを一人で行うこともあるとわかりました。株式会社 HIORYES さんの職員の方は、採算が最も重要で、たとえ良いものを作れたとしても、採算が取れなければ意味がないと言っていました。また、地方が発展していない理由の一つに、伝統が存在することを挙げていました。また、若手の人を雇って独立させていくことで、発展し続けることができると言っていました。

今回、株式会社 HIORYES さんの講座に参加させて頂きました。株式会社 HIORYES さんの講座では、映像制作について深く知ることができ、地元の PV からテレビに出ているような有名な人への映像制作まで、幅広く行われていることに驚きました。僕は、演劇部に所属していて近いものを感じていたので参加させて頂きましたが、いかにお客さんに満足してもらえる作品を作るかという言葉がとても印象的であり、僕たちの部活でも考えられることだと思いました。今日はとても有意義な時間となりました。

文化は地方にあると聞いてとても驚きました。私は地方にはなにもなく、面白くないと思っていたので、お話を聞いて地方に住んでいる私たちだからこそできることがあると知り、地方に興味を持つことができました。

また、世界のニュースにアンテナをはることが大切ということも驚きました。地方と世界はかなりスケールが違って通ずることはなにもないと思っていたので、意外に思いました。私も世界のことについて興味を持って知っていきたいと思います。

株式会社 HIORYES さんは、映像を作る上で「伝えたい人に伝わる」ということを大切にしていると知った。株式会社 HIORYES さんの話を聞いて、積極性・自分で何かやってみようという精神が大切であるということを知った。また、都会で働くと、自分は与えられた仕事のみをやれば良いという感じだが、地元では、一人が何役も掛け持ちして働く必要があると知った。一人何役もするのは大変だが、その分楽しさもあるということを知った。さらに、地元で働き、且つ成功するには、地元だけでなく世界に目を向けて、広い視点で見るのが大事だと知った。そして、今の私たちは、とことん挑戦をすることが大事であることを教わった。最後に、余談だが、このジモト大学の翌日に映画を見に行ったら、その CM で、株式会社 HIORYES さんが創った CM をたまたま見ることができた。身近にこれを創っている人がいると思うと、少し誇らしいような気持ちにもなったし、そんな株式会社 HIORYES さんもすごいと思った。

地元ならではの自然や、古くから残る文化、それぞれの地方の強みを活かして企業や他の人の役に立つ事をやっていくということが、とても印象に残りました。今まで、田舎だからという理由で地元を離れることしか考えていなかったけれど、都会に出たから全てがそこにあるという訳では無いこと、何も無いというだけで地元を離れるのではなく、ここにしかない強みを見つけ、活かしていくことが大切なのだとすることに、この講座を聞いて改めて気づくことができました。

自分の将来の職業として興味のある映像系のお話が聞けて貴重な体験になりました。お話の中で心に残ったことは、今私たちに大切なことは知識を増やすことという言葉です。自分が知っていることからしかやりたいことは生まれにくいから、今は知っていることを増やすことが大切だとおっしゃっていました。自分が今興味のあることを深めることはもちろん、今は興味がないことも拒絶せずに吸収することを大切にしていきたいです。

また、世界のニュースに関心を持ってほしいという言葉も印象に残りました。今あまりニュースに関心を持っていないので、これから少しずつ関心を持ってみて、知識を増やしていきたいです。

映像関係はよくわからなかったけれど、今回お話を聞いて少し知ることが出来て良かったです。カッコいい、華やか、というイメージは単なるイメージに過ぎず、地方で働く人は一人がいくつかの仕事を兼務したり、朝早くから夜遅くまで働いているのが現実で、でもそれは意欲がある人が集まっているからこそ長い時間仕事ができるのだと分かりました。私の通っている高校ではSDGsに重点を置いているので、SDGsがファッション化しないよう心がけているとおっしゃっていたのがすごく印象的でした。

映像の仕事と聞くと、動画の編集やPR動画の作成など華やかで楽しそうな仕事だと思ったけれど、動画の編集だけでも何時間もかかり、PR動画などを作ろうともなると、撮影も加わってくるので、さらに時間を使うことになることが分かりました。また、仕事の量が大変だったり少なかったりと、かなり不安定でもあることが分かりました。これらの仕事は地道な作業が積み重なって成り立っていることも分かりました。

今回の機会で、地元との連携や関わりという面のお話を聞かせていただき、私もFRH活動で地元と繋げてテーマを解決できるような案を考えたいと思いました。また、映像制作という面で、私たちは今、自分のデバイスで容易に自分の思い通りの映像が作れるという点から、自分のプレゼンテーションをよりよく出来るような映像制作を自分自身でやってみたいなどと思いました。それが上手くできるように、普段から自主的に何か映像を作ってみるのも楽しそうだと思ったので、やっていきたいです。

私は、映像系の仕事を知ったりする機会がなかったのも、とても良い機会になった。今回の話を聞いて、私は地方だからこそできることがあるということを知った。話にあった通り、都会では、一人一つの役割を受け持つが、地方では一人いくつも役割を受け持つ。色々なことが経験できるので、そこが地方で働く利点だなと思った。身近にこんなすごい企業があることを知ることができた。

SDGsについているんな企業が行っていることを真似するのではなく、自分たちなりの持続可能な社会にするために貢献していることが分かりました。映像を通して伝えたい人に伝えるものを創る株式会社HIORYESさんの思いが、もっとたくさんの人に伝われば良いなと思いました。私たちが持つスマホの映像で表現する時に出来ることは、まとめてから撮ると良いと教えてもらったので、これからは意識して撮りたいと思いました。

まず、会社名がHi or yesで、「出来ません」とは初めから言わせないとあっていて、すごいと思いました。そして、専門技術は問わず、創作意欲がある前向きな姿勢を持っている人なら歓迎と言っていて、良い会社だと思いました。映像関係の会社ということで、地方の紹介を映像にすることで地方を活性化させようとしていて、地方のことを考えて仕事をしていてすごいです。

株式会社HIORYESさんは、有名人の宣伝や映画、動画の宣伝や作成を行っているとき、僕は宣伝する上で大事にしていること、意識していることはなにか？を訪ねました。会社の方は自分が調べることをの本質を知ることだとおっしゃっていたので、FRHの研究に活かしたいと思った。

映像制作において、伝えたい人に伝わるものを作るという考え方がとても良いと思いました。伝えたい人に伝わるものを作るという明確な目標は、その映像自体の質をあげることに繋がっていると思います。なので、何かをする上で明確な目標があるということは、そこに至るまでの道のりをより良くしてくれると思うので、私も何かに打ちこむときは、明確な目標をもってやっていきたいです。

株式会社 HIORYES さんの話を聞いて、映像を作ると言っても、ただ技術を得て制作するだけではなく、自分にしかできないものや、ここでしかできないものを作ろうとする考え方が大切なのだとわかりました。いろいろな情報のアンテナを立てて創造していく過程が面白そうだなと思いました。都会じゃない、こういった地域に住んでいるからこそできること、伝えられるものがあるとわかりました。SDGs が広まっている中で「SDGs がファッションにならないように。」という考え方が良いなと思いました。

私は将来、できれば国外で映像関係の仕事に就きたいと思っています。株式会社 HIORYES さんの話から、私たちが地元を見る感覚と県外や国外の人たちが私たちの地元を見て感じることは違うと知りました。自分が感じていることや自分の日常生活は他の人とは違って、他の人の刺激になることもあるのだろうなと思います。海外に行けば、なおさら自分とは違う価値観を持つ人や全く違う生活をしている人がほとんどです。だから普段から自分自身や自分の周りをよく見て、映像だけに限らず、自分の感じていることなどを上手く周りに伝えていく力をつけたいなと思いました。